

6. 気質アンケートによる精神発達遅滞児の乳児期行動特徴の評価

庄 司 順 一
(都立母子保健院)

精神遅滞の疑われる児の乳幼児期における診断は、病的な所見や発達検査・知能検査によるが、スクリーニングは、運動発達・精神発達のマイルストーンを年齢相応に達成しているか否かをみることによる。しかし、自閉症児・精神遅滞児の乳児期行動特徴を回顧的に検討した2、3の研究によれば、これらの児は、おとなしい、手がかからないなど、一定の行動特徴を示すことが指摘されている。したがって、マイルストーンの達成とは別に、行動特徴の面から、精神遅滞が疑われる児を評価することにも意義があると考えられる。そこで、本研究では、精神遅滞児、あるいはこれが疑われる児について、その乳児期の行動特徴（気質的特徴）を明らかにし、精神遅滞児の早期発見に関する手がかりを得たいと考えた。そのために、「気質アンケート」（仮称）を作成し、初年度にはその試案を報告し、第2年度は、これを改訂し、若干名の児について資料を集めた。

本年度は、例数を追加し、正常児群と発達遅滞あるいはこれが疑われる児に気質アンケートを施行し、本質問紙の有効性と発達遅滞児の行動特徴について検討した。

対象および方法

対象は、正常児群 189 名、発達遅滞児群 82 名、計 271 名である（表 1）。正常児は、年齢相当（早期産児では修正年齢に対して）の発達をしている児である。ここで発達遅滞児としたのは、おおむね DQ85 以下で、1 才までは CP などを合併しているものを含み、6 才以上では特殊学級在籍児が多い。

気質アンケートは、12 カ月までは最近 1 カ月間のようすで記入し、13 カ月以後では乳児期の状態を想起して回答してもらった。

表 1

月令(年令)	対象 (人)						計
	正常児群			発達遅滞児群			
	男	女	計	男	女	計	
3M~5M	10	17	27	7	6	13	
6M~8M	18	27	45	5	5	10	
9M~12M	15	22	37	3	4	7	
1Y~2Y	15	22	37	12	3	15	
3Y~5Y	12	11	23	8	1	9	
6Y~12Y	8	12	20	19	9	28	
計	78	111	189	54	28	82	271

表 2. 正常児群における年令（月令）による得点の比較（t 検定）

年令 \ 項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
3M~5Mと6M~8M																				
6M~8Mと9M~12M																				
3M~5Mと9M~12M								*												
9M~12Mと1Y~2Y																				
1Y~2Yと3Y~5Y			*															**		
3Y~5Yと6Y~12Y															*			*		*
1Y~2Yと6Y~12Y														**		*				

* P < .05

** P < .01

結果および考察

表2は、正常児群における各項目の得点の年齢群間の差をt検定により検討したものである。ここでは、1才までと、1才以後とに分け、それぞれ年齢（月令）間の得点の差を検討した。1才までの3群間では、3～5カ月と9～12カ月の項目8にのみ、有意な差がみられた。9～12カ月と1才（13カ月以上）～2才との間には有意差は1項目もみられなかった。1才以後では、1～2才と3～5才では、2項目に有意な

差がみられただけであったが、6～12才群と他群とでは有意な差がやや多くみられた。すなわち、3カ月から12カ月、および1才から5才までは、それぞれ月令・年齢による得点の差は小さいといえる。

表3は、正常児群と発達遅滞児群の各項目の得点の差を、年齢群ごとに比較したものである。多くの項目で有意な差がみられるが、この場合、いずれも得点は正常児群の方が高くなっている。

表3. 正常児群と発達遅滞児群の各項目の得点の比較（t検定）

年齢	項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
3M～5M					***	***		***				**	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
6M～8M			*	*	**			**	***			**	***	**	/	/	/	/	/	/	/	/
9M～12M								***	***	*		*	**	***				*		/	/	/
1Y～2Y					*			**	*			**	*	**			*	*	***	***	***	***
3Y～5Y				***	***							**	***	***		*	***		***	***		
6Y～12Y					**			***	**			**	***	***	**		***	***	***	***	***	***

* P < .05

** P < .01

*** P < .001

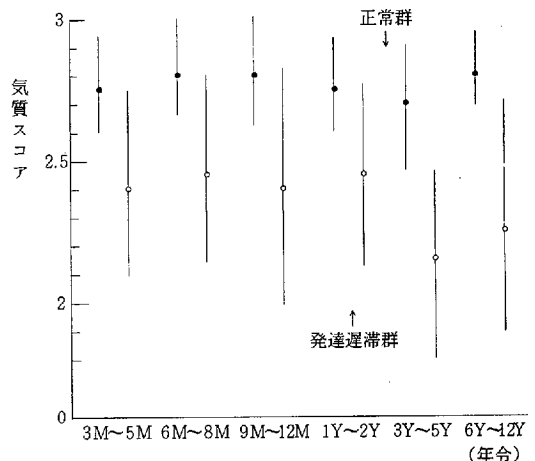
いずれも得点は正常児群 > 発達遅滞児群

表4は、正常児群と発達遅滞児群で得点に顕著な差のみられた項目を示したものである。これらの項目で、発達遅滞児群では出現頻度が少なかったり、現われ方が弱いという応答性の乏しさが示されている。

次に、気質アンケートの各項目の段階1を1点、段階2を2点というようにし、これを各児で合計し、回答項目数で除して、各児の気質スコアとした。図に示したのは、年齢ごとに、正常児群と発達遅滞児群の気質スコアを比較し

表4. 正常児群と発達遅滞児群とで得点に差のみられた項目

No.	
4	あやしたときの微笑
5	声を出して笑う
7	表情
8	おとなしさ
11	発声
12	オモチャへの関心
13	視線
16	名前をよぶと
17	カガミへの反応
18	動作のまね
19	指さし
20	母親の指さしへの反応



たものである。どの年齢においても、両群間の差は有意であった。

まとめ

精神遅滞が疑われる児の乳児期行動特徴を評価するために、「気質アンケート」を作成し、これを正常児と発達遅滞あるいは発達遅滞が疑われる児に施行した。その結果、20項目のうち12項目では両群間に顕著な差がみられ、発達遅滞児群の応答性の乏しさが明らかとなった。また、各児の気質スコアを求め、両群間で比較し

たところ、ここでも顕著な差がみられた。

以上より、気質アンケートは、発達遅滞の疑われる児を評価するのに有用であり、マイルストーンや発達検査などと併用することにより、児のより正確な評価に役立つと考えられる。

今後、これらの児をfollow-upすることにより、気質アンケートの予測的妥当性を検討することが必要であり、また例数を増すことにより発達遅滞の種類や程度別に検討することも必要である。

気 質 ア ン ケ ー ト

この質問紙は、お子さんの行動の仕方の特徴（気質）を知ろうとするものです。何をするか、何ができるか、ということではなく、どのようにするか、ということの問題にしています。したがって、良い、悪いとか、正しい、間違ったという答えはありません。お子さんのふだんのようすについて、あなたご自身の観察や印象にもとづいて、答えて下さい。

お子さんのお名前		男・女
出生年月日	年 月 日	年 令 才 月
出生予定日	年 月 日	
記入年月日	年 月 日	
住 所	〒	
電 話 番 号		

記 入 の 仕 方

以下の各項目について、お子さんの最近1か月間のようすから、右欄の1～4（または1～3）のうち、お子さんに一番あてはまる番号を丸（○）で囲んで下さい。

どうしてもあてはまらない場合や、わからない場合には左欄の項目番号に×をつけて下さい。

お子さんが	{	5か月以下ならば、項目1～11に答えて下さい。 6～8か月ならば、項目1～13に答えて下さい。 9～12か月ならば、項目1～20に答えて下さい。 13か月（1才1か月）以上ならば、1才までのことを思い出して項目1～20に答えて下さい。
-------	---	--

どなたも、最後のページの補足質問に答えて下さい。

著 者 庄 司 順 一 （ 都 立 母 子 保 健 院 03-420-7271 ）

項目	回 答			
1. 泣くことは	非常に少ない (めったに泣かない)	どちらかという と少ない	どちらかという と多い	非常に多い (よく泣く)
	1	2	3	4
2. 泣き声の強さは	非常に弱い	どちらかという と弱い	どちらかという と強い (元気な声で泣く)	非常に強い (激しく泣く)
	1	2	3	4
3. 眠りは	昼間も眠ってばか りである	昼間も眠ったり、 うとうとしている ことが多い	昼間はかなりの時 間ははっきりと目覚 めている	
	1	2	3	
4. あやしたとき、笑う ことは(ほほえむだ けてよい)	ほとんどない (あやしても めったに笑わ ない)	あやすと、ときど き笑う	あやすと、よく笑 う	
	1	2	3	
5. あやしたとき、声を 出して笑うことは	ほとんどない	ときどき声を出し て笑う	よく声を出して笑 う	
	1	2	3	
6. 敏感さは(音、光、 味などについて)	敏感でない	どちらかという と敏感ではない	どちらかという と敏感である	非常に敏感である (過敏)
	1	2	3	4
7. 表情は	表情が乏しい 表情にあまり変化 がない	どちらかという と表情に変化がない	表情は豊かである	
	1	2	3	
8. おとなしさは	非常におとなしい	どちらかという とおとなしい	おとなしくはない	
	1	2	3	
9. 手がかかるとどうか は	非常に手がかから ない	どちらかという と手がかからない	どちらかという と手がかかる	非常に手がかかる
	1	2	3	4

項目	回 答			
10. なだめやすさは (泣いたり、ぐずったりしているとき)	非常になだめにくい 1	どちらかというとなだめにくい 2	なだめやすい 3	
* 11. 声を出すことは	非常に少ない 1	どちらかというと少ない 2	どちらかというが多い 3	非常によく声を出す 4
12. オモチャへの関心は	・ほとんど関心を示さない ・手にもたない ・すぐにおとしたり、投げてすてたりする 1	・多少の興味を示す ・しばらくつかんでいてちらっとみたりする ・特定のオモチャにのみ関心を示す 2	・いろいろなオモチャに関心を示す ・手をのばしてつかんだり、ふったり、みたり、たたいたりして遊ぶ 3	
** 13. 視線の合い具合は	視線が合わない 1	視線はときどき合う 2	ふつうは視線がよく合う 顔をじっとみつめる 3	
14. 人見知り	全然しない だれにだかれても平気 1	多少する 知らない人に抱かれると、泣かないが、からだをかたくしたり、じっと見つめて警戒したりする 特定の人にだけ人見知りする 2	人見知りする 知らない人に抱かれると泣き出す 泣きそうになってすぐ母へ抱かれようとする 3	激しい 知らない人に抱かれると激しく泣く 抱かれそうになるだけで泣き出す 4
15. あとおいは (お母さんがそばを離れ、しかもそばにだれもいないとき)	しない ひとりになって も平気 1	泣いたりはないが、心配そうな表情で母の動きを目で追う 2	泣き出す 這って母のあとを追う 3	激しく泣き出す 4

* ** ……最後のページの補足質問にも答えてください。

項目	回 答		
16. 名前をよぶと	ふりむかない 気がつかない 1	ときどき ふりむ かないことがある 2	ふつりはすぐにふ りむく 3
17. カガミの前に、抱いて立つと	関心を示さない 目をそらす 1	じっと見つめる ふしぎそう 2	カガミの中の自分 や母に笑いかけた り、手をのばした りする 3
18. 動作のまねは (バイバイ、オツム ンテンなど)	しない 1	1つだけする 気が向いたときだ けする 2	よくする 3
19. 指さしは (お母さんといっしょ に絵本をみていると きなど)	しない 1	たまにする 2	よくする 指さしながらアー アー声を出して教 える 指さしして母の方 をみる 3
20. お母さんが指さす方 を (例えば、壁にかっ ている時計や絵など、 少しはなれたところ にあるものを、お母 さんが指さしたと き)	みない 1	たまにみる 気がむくとみる 2	よくみる 3

(次のページへおすすみください)

補 足 質 問

1. お子さんについて

- A. 生まれたときの体重 _____ ㌔
- B. 在胎期間 _____ 週で生まれた
- C. 妊娠中の異常 1. なし 2. あり()
- D. 分娩の異常 1. なし 2. あり()
- E. 新生児期の異常 1. なし 2. あり()
- F. 保育器の使用 1. なし 2. あり(日間)
- G. 退院の遅れ 1. なし(生後約1週間で退院) 2. あり(日目に退院)
- H. 生後3か月間の栄養法
- | | | | | |
|---------|------|---------|-------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 母乳だけ | 母乳が主 | 母乳とミルクが | ミルクが主 | ミルクだけ |
| 半分くらいずつ | | | | |
- I. 今までに何か病気はしましたか 1. していない 2. した()

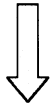
2. ご家族について

- A. お子さんは何番目の子どもですか 第 _____ 子
- B. 同居しているのは、お子さまも含めて全部で何人ですか _____ 人
その内訳は 父、母、この子 _____
- C. お母さんの年齢 _____ 才 お父さんの年齢 _____ 才
- D. お母さんの職業の有無 1. なし 2. あり()
- E. 昼間、主にお子さんの世話をしている方はどなたですか
1. 母親 2. 祖母 3. 保育園 4. 保育ママ 5. その他()

3. その他

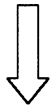
- A. 育児の印象
- | | | | | |
|-------|---------|-----|--------|------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 大変である | やや大変である | ふつう | やや楽である | 楽である |
- B. お子さんは、ひとことでいうと、どんなお子さんですか(性格あるいは行動特徴)

(ご協力ありがとうございました)



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



精神遅滞の疑われる児の乳幼児期における診断は、病的な所見や発達検査・知能検査によるが、スクリーニングは、運動発達・精神発達のマイルストーンを年齢相応に達成しているか否かを見ることによる。しかし、自閉症児・精神遅滞児の乳児期行動特徴を回顧的に検討した2、3の研究によれば、これらの児は、おとなしい、手がかからないなど、一定の行動特徴を示すことが指摘されている。したがって、マイルストーンの達成とは別に、行動特徴の面から、精神遅滞が疑われる児を評価することにも意義があると考えられる。そこで、本研究では、精神遅滞児、あるいはこれが疑われる児について、その乳児期の行動特徴(気質的特徴)を明らかにし、精神遅滞児の早期発見に関する手がかりを得たいと考えた。そのために、「気質アンケート」(仮称)を作成し、初年度にはその試案を報告し、第2年度は、これを改訂し、若干名の児について資料を集めた。

本年度は、例数を追加し、正常児群と発達遅滞あるいはこれが疑われる児に気質アンケートを施行し、本質問紙の有効性と発達遅滞児の行動特徴について検討した。